

理工系大学院受験の経験談

曹佳贇

曹佳贇と申します。晓庄学院ソフトウェア専攻を卒業して、2014年7月、亜細亜友之会外語学院に入学しました。先生方のご指導のおかげで、芝浦工業大学大学院工学研究科電気電子情報専攻に合格できました。以下は、私の大学院の受験経験と感想を皆さんにお伝えしたいと思います。理工系の皆さんの役に立てれば幸いです。

まず、理系と文系がもっとも異なるのは事前に教授と面談することが絶対必要だということだと思います。自分の研究計画書と履歴書を一緒に希望する学校の先生に送ってみてください。先生から面会のチャンスをいただけるかどうかは研究計画書の専門性と英語・日本語の能力次第だと思います。学校のホームページと先生の紹介を良く見て、教授の個人のホームページがあれば、これも絶対見ておく必要があります。教授の研究分野は何か、近年何について研究しているのかを把握しないと、全く分野の異なる先生にメールを送っても無駄な時間を費やすだけになってしまいます。自分一人で見ても判断できない場合は、学校の先生の意見を聞いて、先生方の経験から何かよい情報を頂けるかもしれません。

自分の将来像を想像して、自分のこれから向かう方向を定めてから、大学院で何を研究するのかを決めたほうがよいと思います。特に、理工系の学生は、大学院で研究した内容は将来の仕事に活かせる場合が多いので、せつかく2年間研究してきたのに、将来使う道がなかったら、もったいないと思います。学部時代はソフトウェアの開発について勉強してきたが、大学院の研究テーマを「無線通信環境」に転向しました。テーマを変えたのは、将来は無線通信の時代で、無線通信分野にまだまだ解決できていない技術問題が多くあるからです。

また、希望する教授の著書を熟読することをお勧めします。教授と面談した時に、教授の研究分野と現在取り掛かっている研究課題を教えてくださいました。もし、自分の研究テーマが教授のテーマと近かったら、お互いに都合が良いと言っても過言ではありません。芝浦大学大学院の入試では、一般入試と外国人特別入試の2種類があります。一般入試の試験科目は専門知識と面接、外国人特別入試の試験科目は小論文と面接です。小論文が得意ではない私にとっては、むしろ数学などの専門知識の試験を受けたかったです。入試課に問い合わせしてみたら、外国人の場合は一般入試でも参加できるとの返事を頂き、迷いもなく一般入試に出願しました。

試験の前に、もう一度教授と面会ができて、研究室も見学させて頂きました。先生と話す時に、突然英語で質問され、すぐに英語で返事しました。英語を勉強し続けてよかったと思いました。

最後に、お世話になった先生方に御礼申し上げたいと思います。先生方のサポートと助けがなければ、合格できなかったと思います。本当にありがとうございました。